

私たちのお口の中には、**約400種類の細菌**、数にすると**数千億の細菌**が存在します。お口の中の細菌は、**むし歯や歯周病の原因**となります。この細菌は、お口の中の病気の原因となるだけでなく、**肺炎を起こしたり、心臓病、循環疾患、皮膚病の原因**となったり、**糖尿病**にも関係します。

細菌の構造

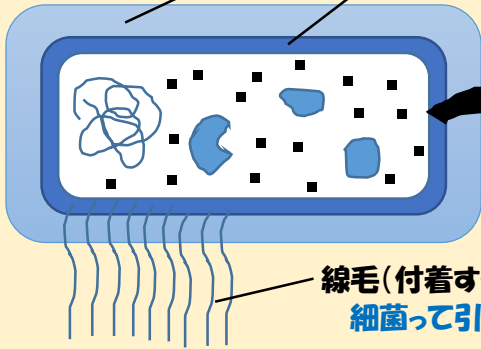
きょう膜(白血球に食われないためのもの)

細胞壁(細菌を保護するもの)

細菌って守るんだ!!

べん毛(運動するためのもの)

細菌って動んだ!!



線毛(付着するためのもの)

細菌って引っ付くんだ!!

細菌の毒素

細菌は**内毒素**と**外毒素**を出します。お口に住み着く細菌は**内毒素**を出します。

内毒素の病原性

- 熱を出させます。
- 骨を溶かします。
- 血糖値を上げます。
- 炎症を起こします。



母から子へ



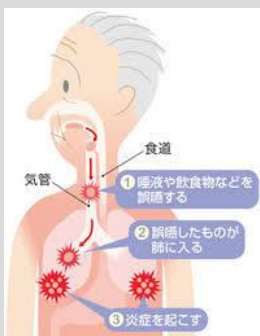
母親のお腹の中にいる赤ちゃんには細菌はいません。ところが、生まれてくるとすぐにいろいろな細菌がお口の中に住み着きます。

特に**母親のお口から子供のお口へ菌が移ります。**

○ワンポイント

- ・むし歯菌や歯周病菌は人から人へ移ります。
- ・特に母親のむし歯菌は移りやすいので**出産前に治療**しましょう。
- ・赤ちゃんへの口移しは**控え**ましょう。

お年寄りは肺炎になりやすい



私たちは寝ている時でも唾液を飲んでいきます。お口の中の細菌は胃の中に入った場合、胃液で殺されます。

ところが、高齢者の嚥下反射は低下して、知らない間に鼻、のど、口の細菌が**気管へ流れ込み**ます。お口の中の細菌が**気管支から肺へ入った場合、免疫力の弱い方は肺炎**となります。

歯周病菌は動脈硬化を引き起こす



歯周病のある人ほど動脈硬化による**心臓疾患**が多くなります。動脈硬化が起きている場所に歯周病菌が見つかりました。このことから**歯周病が動脈硬化**に関係していることがわかります。その他、**血糖値を上げて糖尿病**のリスクを上げたり、**皮膚炎**の原因にもなります。

お口の中の細菌は全身疾患にも深く関係しています。むし歯や歯周病で歯を失う前に治療しましょう。しかし、**一番大切なことは、むし歯や歯周病にならないように予防すること**です。当院の顕微鏡で自分のお口の中の細菌をみることが出来ます。ご希望な方はスタッフまでお知らせください。